

研究分野 歴史学, 社会科教育学

キーワード 中国史, 華南山間地, 社会変動, 地域秩序, 多文化共生

歴史的アプローチに基づく 多文化共生社会に関する研究



教育学部 学校教育教員養成課程 社会認識教育講座
教授 甘利 弘樹 (Hiroki Amari)



研究概要

1 中国華南山間地社会史の研究

17世紀の中国華南山間地における動乱と秩序形成を追っています。

特に当該地域における開発・移住に基づく社会変動とそれに対する政府の権力浸透過程を、行政文書を中心とした文献に基づきながら、研究しています。

この研究を通して、中国社会・アジア社会の特質を見出そうとしています。

2 歴史教育の授業開発に関する研究

歴史研究の成果に基づいた社会科教育の多様なスタイルを提案しています。

歴史研究のエッセンスを生かしながら、小学校・中学校・高等学校・大学・その他における社会科、とりわけ歴史の授業や学びを意義あるものにするために、アクティブラーニング（AL）のメソッドを新たに生み出すことを目指しています。

3 多文化共生社会に関する研究

上の1・2をふまえ、歴史的背景を視野に入れ、現代世界・現代日本の諸課題解決を導くアプローチ方法解明を試みています。

焦点化しているテーマは、文化の異なる人々が共生できる社会のあり方です。世界各地の移民問題に端を発する対立・紛争の解決及び融和の方向性に関する理論・実践を発信することに努めています。



華南山間地のワンシーン



大学におけるAL型の授業風景



横浜中華街の関帝廟

アピールポイント（技術・特許・ノウハウ等）

- ・著書『明末清初期、広東東北部地域における行政区域の変化について』（1998年）
- ・大分大学教育学部附属教育実践総合センター長（2018年度～）
- ・教員免許状更新講習「多文化共生社会を考える」の講師を担当（2013年度～2021年度）

応用可能な分野

異文化理解研究, マイノリティ研究, 映像資料研究, 文献学